

目標達成計画

作成日: 平成 25年 6月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	34	平成24年度には入居者4名の方とお別れをする事となった。持病の悪化や急変が理由であった。生活を支える専門職として、入居者が適切な医療支援を受けられるように、状況・状態観察の大切を再認識した。医療知識の向上が必要と感じた。	入居者の急変があった場合に、職員全員が迅速に又適切な対応を行えるようになる。	現時的に必要なニーズを見極めて、必要とする対応が各職員が行えるように、随時、勉強会や会議を開く。又、各入居者の持病において、推測される病状に備えた医療知識を高める内部研修を実践する。	12ヶ月
2	48	年々、各入居者の介護度も上がり、疾病によって生命を脅かすケースも多くあり、又ケースは重複してあった。その対応に追われる事が多く、その他の入居者に十分な生活提供できなかったと感じる。	入居者一人ひとりが張り合いや喜びのある日々を一日でも多く過ごして頂く。	①多種多様なニーズに対して、各職員のスキルやチーム力を駆使して対応する。②全職員で、各入居者の満たされる生活とは何かと、改めて話し合い実践に向ける。その①②テーマを定期的に全体会議で共有して、実践に繋げる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。